

各 位

上場会社名	コマツ
代表者	代表取締役社長 野路 國夫
(コード番号)	6301)
問合せ先責任者	執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 浦野 邦子
(TEL)	03-5561-2616)

## 連結ならびに個別業績予想の修正に関するお知らせ

昨年7月31日に公表いたしました2013年3月期(2012年4月1日～2013年3月31日)の連結ならびに個別業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2013年3月期通期連結業績予想数値の修正(2012年4月1日～2013年3月31日)

	売上高	営業利益	税引前当期純利益	当社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,970,000	262,000	252,000	157,000	164.86
今回修正予想(B)	1,920,000	230,000	222,000	138,000	144.91
増減額(B-A)	△50,000	△32,000	△30,000	△19,000	
増減率(%)	△2.5	△12.2	△11.9	△12.1	
(ご参考)前期実績 (2012年3月期)	1,981,763	256,343	249,609	167,041	173.47

2013年3月期通期個別業績予想数値の修正(2012年4月1日～2013年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	810,000	54,000	84,000	65,000	68.22
今回修正予想(B)	730,000	39,000	74,000	56,000	58.77
増減額(B-A)	△80,000	△15,000	△10,000	△9,000	
増減率(%)	△9.9	△27.8	△11.9	△13.8	
(ご参考)前期実績 (2012年3月期)	851,139	55,338	88,079	92,593	96.10

修正の理由

#### 【連結業績予想】

建設機械・車両部門において、主として燃料炭価格の下落等の影響を受け、当社の販売シェアが高いインドネシア市場で鉱山向けの大型機械・中小型の建設機械の需要が減少しているため、当部門の売上げが前回予想を下回る見通しとなりました。また、利益に関しても、足元の為替の円安の影響が第4四半期(2013年1月1日～2013年3月31日)で見込まれるものの、年間では販売数量の減少が大きく、昨年7月31日に公表しました前回予想を下回る見通しとなりました。このような状況を踏まえ、2013年3月期通期連結業績予想(2012年4月1日～2013年3月31日)につき、売上高および利益を修正いたします。

本業績予想の前提となる第4四半期の為替レートは、1米ドル＝88円、1ユーロ＝115円、1人民元＝14.1円と変更いたします。通期平均では、1米ドル＝82円、1ユーロ＝106円、1人民元＝13.0円となります。(前回見直し1米ドル＝79円、1ユーロ＝99円、1人民元＝12.6円)

#### 【個別業績予想】

連結業績予想の修正と同様に、足元の為替の円安の影響が第4四半期(2013年1月1日～2013年3月31日)で見込まれるものの、建設機械・車両部門において主としてインドネシアと中国の建設・鉱山機械の売上げの減少により日本からの出荷を抑制したため、昨年7月31日に公表しました2013年3月期通期個別業績予想(2012年4月1日～2013年3月31日)につき、

売上高および利益を修正いたします。

(注記)

前述の将来の業績に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをご承知下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

以 上